

令和4年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 (大阪府域) 首長会議 議事概要

日 時：令和4年7月11日(月) 10時00分～11時00分

場 所：Web方式(Zoom)による開催

【出席者】

(委員)

高槻市	濱田 市長
茨木市	福岡 市長
島本町	山田 町長
淀川左岸水防事務組合	平田 事務局長
淀川右岸水防事務組合	八木 事務局長
大阪府 政策企画部 危機管理室	小池 室長
大阪府 都市整備部 事業調整室	森下 室長
大阪府 都市整備部 河川室	山内 室長
気象庁 大阪管区气象台	横田 台長
淀川ダム統合管理事務所	冠 所長
淀川河川事務所	波多野 所長

(代理)

大阪市	長沢 危機管理監
吹田市	中野 危機管理監
守口市	西口 危機管理室長
大東市	中村 危機管理監
門真市	宮口 総務部長
摂津市	辰巳 総務部理事
東大阪市	福永 危機管理室長
(独)水資源機構 淀川本部	犬童 施設管理課長

■議題

(1) 淀川管内水害に強い地域づくり協議会について

- 1) 規約の改正
- 2) 令和3年度の活動報告
- 3) 今年度の重点取組

『要配慮者利用施設における避難確保計画作成及び避難訓練の実施』

(2) 洪水予報の発表（変更）に関する情報提供

(3) 天ヶ瀬ダム再開発事業における通水試験後の運用に関する情報提供

(4) 話題提供「線状降水帯と淀川チャネル型大雨」

(5) 意見交換

議題：水害時の逃げ遅れゼロの実現に向けた連携について

【開会挨拶】 淀川河川事務所 波多野所長

- ・本協議会は、平成21年度から淀川沿川の各市町が「自分で守る」、「みんなで守る」、「地域で守る」を共通の目標として防災意識の向上やソフト対策の充実等を図ることを目的に開催しています。
- ・昨年11月には流域治水関連法である特定指定都市河川浸水被害対策法が改正され、流域治水の本格的な実行に向けた整備体制が整ったところです。沿川市町の被害軽減のためには従来の水防災意識社会の再構築に向けた取組の推進に加え、流域治水への転換が重要になると考えています。本協議会を通じて、大阪府との連携のもとに、取組の更なる促進や加速化、沿川市町への取組支援を引き続き実施していく所存です。
- ・本日の協議会は、昨年度に引き続きWEB形式の開催としています。その背景としては、災害が切迫した状況時には個々にホットラインの電話をさせていただき形を取っていましたが、WEB形式であれば皆様と同時に気象情報・河川の水位予測や危機意識を共有することができます。また、避難指示の発令をはじめ、今後の対応等に関する自治体間の意見交換に繋がることが期待されています。本日はそのような災害対応を想定した訓練の意味合いも兼ねています。本日の会議が水害への備えに資するものとなりますようご期待申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。

【意見交換 テーマ：水害時の逃げ遅れゼロの実現に向けた連携】

<高槻市長>

- ・災害対応を経験する中、市民が逃げてくれないことを痛感しています。
- ・淀川は非常に大きな河川であり、早めの避難に向けて真摯に対応しています。
- ・市民から避難先がわからないという意見をよく聞いています。詳細の避難シミュレーションは出来ていなかったため、住民の不安に伝えていく必要があると考えています。
- ・市単位・地域のタイムラインの整理をしていきたいです。
- ・本市は、市制施行70周年と75周年記念には、大防災訓練を実施しました。今年度80周年を迎え、大防災訓練を実施する予定です。これまでは地震を想定した訓練でしたが、

今回は水害を想定した大防災訓練を通じて、課題の抽出や検証をしていきたいと思いをします。

- ・淀川は大きな河川であり、避難人数も多くなり、市町の対応ではなかなか難しいことがあるため、引き続き国の支援と連携をいただきたいと思います。

<茨木市長>

- ・避難確保計画の作成については4分の1の施設がオンライン説明会に参加いただき、徐々に取り組んでいるところです。
- ・淀川沿いの自治体では、民間の物流倉庫の立地が進んでいる市町が多く、また、大規模の商業施設などもあります。避難の観点ではそういった施設との連携が重要になると考えて、個別に話し合いを進めています。
- ・該当施設へ人がどのように流れていくか、自治体としてコントロールをするのか、どこまで周知をして良いか、捌き方が悩ましいところです。ただ、避難場所の確保として、該当施設との協定締結の取組を続けていくことが必要だと考えられます。民間との連携に関する先進事例や取組等を提供いただきたいと思います。

<島本町長>

- ・本町では、浸水想定区域内に住む人口が6割程度と多く、避難所が北部に集中していることから地域によっては避難経路が長くなります。ただ、マンションの割合が高いため集合住宅にお住まいの方は垂直避難して頂くことも可能です。また、浸水継続時間が短いため、避難される方はしっかりと避難するよう促しています。
- ・ハザードマップを活用し避難のイメージを持っていただくよう取り組んでいますが、避難経路が長い住民を対象に、余裕を持った避難に向けた専門的な知見について意見を提供いただきたいと思います。
- ・氾濫危険情報の改善や線状降水帯予測の精度向上などを、引き続き技術的な情報を持ちながら連携していきたいです。防災の観点では、治水について引き続き取り組んでいきたいと考えています。

<淀川河川事務所長>

- ・逃げ遅れゼロの実現のためには、如何に避難スイッチを早く入れてもらうかが重要だと思います。
- ・日頃から住民に啓発することが重要であり、マイ・タイムラインやコミュニティタイムラインの作成等の取組を沿江市町と連携しながら、事務所として支援していきたいと思いをします。
- ・防災分野の重鎮である河田恵昭先生から、「日頃できないことは非常時にもできない」とよく聞いております。避難訓練は、年1回か、数年に1回でも実施するのと実施しないのでは変わってくると思いをします。高槻市の80周年大防災訓練のような市民の意識向上を支援していきたいです。

- ・要配慮者利用施設の避難計画の策定や避難訓練については、大阪府と連携し支援していきたいと思っています。
- ・淀川の氾濫域が広く、破堤したら甚大な被害をもたらすことがあるため、広域避難の考え方が重要です。右岸側三島地域での広域避難計画の検討が進んでいますので、広域的に対応できるような取組を大阪府と連携し支援していきたいと思います。引き続き市町の皆様からの要望や取組を挙げて頂きたいと考えています。

<大阪府都市整備部河川室長>

- ・市域のタイムラインやコミュニティタイムラインは非常に重要だと考えており、特にコミュニティタイムラインについては、作成方法を紹介した DVD、事例集の作成、地域のワークショップへの外部講師の派遣など、さまざまな支援を行っておりますので、それらを活用して取り組んでいただければと考えています。
- ・大阪府は 29 年 3 月に大阪タイムライン防災プロジェクトを立ち上げ、神崎川のタイムラインが昨年 9 月に完成し、現在、5 つのブロックで洪水予報河川や高潮を対象とした多機関連携型の広域タイムラインの運用を行っています。なお、広域タイムライン策定後に住民の避難に至るような洪水は発生していませんが、訓練の実施や実運用後のふりかえり、改善を行いながら備えているところです。
- ・今後、淀川流域の取組も参考にしながら広域タイムラインの運用、改善を行っていきたいと考えており、淀川流域における多機関連携型タイムラインの策定に向け、調整や情報提供などをお願いします。

<大阪管区气象台長>

- ・地球温暖化の影響が明らかに出てきています。世界的にも IPCC という科学的に知見を入れた気候変動に関する政府間パネルで言われている通り、極端な気象現象が発生しやすくなっています。
- ・平成 30 年の台風 21 号の高潮については適切に防潮堤を閉めていただきました。このような大きな台風がまた来ないとも限りません。過去に室戸台風や第二室戸台風といった大きな台風が近畿地方を襲っていますので、引き続き警戒や対策をしていただきたいと思います。

【閉会挨拶】淀川河川事務所 波多野所長

- ・切迫したような状況になれば、このような WEB 会議を実施させていただくため、本日は演習を兼ねた会議だと感じています。
- ・今回は観測史上非常に短い梅雨明けでしたが、地球温暖化や気候変動の影響で、予期せぬ事態が起こる可能性があるため、このような場を通じてしっかりと水害を防ぐために引き続き連携とご協力をいただきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

以上